

## 北海道果樹農業振興計画（案）に係る記述事項修正一覧表

番号	頁	素案（10/28時点）	案（2/17時点）	修正理由
1	P 1	<p>この計画は、本道の果樹農業の振興を図り、その健全な発展に寄与することを目的とし、「果樹農業振興特別措置法（昭和36年法律第15号）」第2条の3及び「果樹農業の振興を図るための基本方針（令和2年4月30日）」に基づいて策定しました。</p> <p>計画期間は、「果樹農業振興特別措置法施行令（昭和36年政令第145号）」に基づくとともに、北海道農業・農村推進振興計画との整合性を考慮して、令和3年度から7年度までの5か年間とします。</p>	<p>この計画は、本道の果樹農業の振興を図り、その健全な発展に寄与することを目的とし、「果樹農業振興特別措置法（昭和36年法律第15号）」第2条の3及び「果樹農業の振興を図るための基本方針（令和2年4月30日）」に基づいて策定しました。</p> <p>計画期間は、「果樹農業振興特別措置法施行令（昭和36年政令第145号）」に基づくとともに、「北海道農業・農村振興推進計画」との整合性を考慮して、令和3年度から7年度までの5か年間とし、<u>令和12年度を目標年度とします。</u></p>	<p>□パブリックコメント（花き）を踏まえ、目標年度を記載</p>
2	P 1	<p><b>第1 果樹農業の振興に関する方針</b></p> <p>1 本道果樹農業の現状と課題</p> <p>(1) 現状</p> <p>(略)</p> <p>生産面では、生産者の高齢化や担い手不足、労働力不足が依然として進行する中で、市場価格の低迷や生産資材コストの高止まりなど、果樹経営は厳しい環境に置かれており、農家戸数や栽培面積は、収益性の高い作物への転換などから減少傾向が続いていますが、一方で、都市に住む若者の価値観の多様化や田園回帰の動きから、醸造用ぶどうの生産やワインの製造への新規参入の問い合わせが増加するなどの傾向もみられています。</p> <p>(以下、略)</p>	<p><b>第1 果樹農業の振興に関する方針</b></p> <p>1 本道果樹農業の現状と課題</p> <p>(1) 現状</p> <p>(略)</p> <p>生産面では、生産者の高齢化や担い手不足、労働力不足が依然として進行する中で、市場価格の低迷や生産資材コストの高止まりなど、果樹経営は厳しい環境に置かれており、農家戸数や栽培面積は、収益性の高い作物への転換などから減少傾向が<u>続いています。</u>一方で、都市に住む若者の価値観の多様化や田園回帰の動きから、醸造用ぶどうの生産や<u>ワイン製造</u>への新規参入の問い合わせが増加するなどの傾向もみられています。</p> <p>(以下、略)</p>	<p>□表現の修正</p>

番号	頁	素案（10/28時点）	案（2/17時点）	修正理由
3	P 1	<p><b>（2）課題</b></p> <p>T P P 11や日米貿易協定など国際貿易協定が相次いで発効しグローバル化が進む中、本道の果樹農業が持続的に発展していくためには、自然災害や地球温暖化、病虫害や鳥獣による被害などのリスクに的確に対応しながら、果実の安定生産を進めるとともに、その礎となる果樹園の整備や担い手の育成・確保など生産基盤を強化するなど、生産者が安心して営農できる環境を整えていくことが重要です。</p> <p>（以下、略）</p>	<p><b>（2）課題</b></p> <p>T P P 11協定などによる<u>経済のグローバル化が一層進展する</u>中、本道の果樹農業が持続的に発展していくためには、自然災害や地球温暖化、病虫害や鳥獣による被害などのリスクに的確に対応しながら、果実の安定生産を進めるとともに、その礎となる果樹園の整備や担い手の育成・確保<u>といった</u>生産基盤を強化するなど、生産者が安心して営農できる環境を整えていくことが重要です。</p> <p>（以下、略）</p>	<p>□「第6期北海道農業・農村振興推進計画」に合わせて文言を修正</p>
4	P 3	<p><b>2 果樹農業振興の基本的な考え方</b> （略）</p> <p><b>（1）多様なニーズに対応した高品質果実・果実加工品の安定生産</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○（略）</li> <li>○ 持続可能な開発目標（SDGs※1）の目標の一つである持続可能な農業生産を進めるため、環境との調和に配慮した生産<u>に向けた取組</u>を推進します。</li> </ul> <p><b>（2）（略）</b></p>	<p><b>2 果樹農業振興の基本的な考え方</b> （略）</p> <p><b>（1）多様なニーズに対応した高品質果実・果実加工品の安定生産</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○（略）</li> <li>○ 持続可能な開発目標（SDGs※1）の目標の一つである持続可能な農業生産を進めるため、環境との調和に配慮した生産を推進します。</li> </ul> <p><b>（2）（略）</b></p>	<p>□表現の修正</p>

番号	頁	素案（10/28時点）	案（2/17時点）	修正理由
5	P 3	<p>（3）道産果実についての情報発信及び6次産業化の推進による需要の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○（略）</li> <li>○ 産地と加工・流通業者や観光産業などの異業種との連携による6次産業化の取組を促進し、需要拡大を推進します。</li> </ul>	<p>（3）道産果実についての情報発信及び6次産業化の推進による需要の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○（略）</li> <li>○ 産地と加工・流通業者や観光産業などの異業種との連携による6次産業化の取組を<u>推進し、道産果実の付加価値向上による需要拡大を図ります。</u></li> </ul>	<input type="checkbox"/> 表現の修正
6	P 3	<p><b>第2 果樹農業の振興に向けた方策</b></p> <p>1 多様なニーズに対応した高品質果実・果実加工品の安定生産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 優良品目・品種への転換の促進</li> <li>○（略）</li> <li>○ <u>環境との調和や安全・安心を求めるニーズに対応し、北のクリーン農産物表示制度（YES! clean表示制度）の取組を推進するとともに、消費者や実需者に対しYES! clean農産物の普及啓発活動を進め、理解の促進を図ります。また、食品安全や環境保全、労働安全等持続可能性を確保する農業生産工程管理（GAP）の取組を推進します。</u></li> <li>○（略）</li> <li>■（略）</li> </ul>	<p><b>第2 果樹農業の振興に向けた方策</b></p> <p>1 多様なニーズに対応した高品質果実・果実加工品の安定生産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 優良品目・品種への転換の促進</li> <li>○（略）</li> </ul> <p>（「■安定生産技術やスマート農業技術等の導入」の項目に移動）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○（略）</li> <li>■（略）</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 掲載箇所の変更

番号	頁	素案（10/28時点）	案（2/17時点）	修正理由
7	P 3	<p>■ 安定生産技術やスマート農業技術の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○（略）</li> <li>○（略）</li> </ul> <p>○（略）</p>	<p>■ 安定生産技術やスマート農業技術等の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○（略）</li> <li>○（略）</li> <li>○ 環境との調和や安全・安心を求める消費者ニーズに対応した、北のクリーン農産物表示制度（YES!clean表示制度）の取組の拡大や安定生産を推進するとともに、食品安全や環境保全、労働安全等の持続可能性を確保する国際水準GAPを推進します。</li> <li>○（略）</li> </ul>	<p>□「北海道クリーン農業推進計画（第7期）」に合わせて文言を修正</p>
8	P 4	<p>2 担い手の確保と経営安定</p> <p>■ 担い手の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○（略）</li> <li>○ 他産業等との連携、農福連携の取組などにより、担い手を支える多様な雇用人材の確保を推進します。</li> </ul> <p>（以下、略）</p>	<p>2 担い手の確保と経営安定</p> <p>■ 担い手の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○（略）</li> <li>○ 他産業等との連携、農福連携の取組などにより、担い手を支える雇用人材の確保を推進します。</li> </ul> <p>（以下、略）</p>	<p>□「第6期北海道農業・農村振興推進計画」に合わせて文言を修正</p>

番号	頁	素案（10/28時点）	案（2/17時点）	修正理由
9	P 4	<p>3 道産果実についての情報発信及び6次産業化の推進による需要の拡大</p> <p>■ 道産果実についての情報発信</p> <p>○ 果実を毎日の食生活に欠かせないものとして定着させるため、果実や果実加工品の栄養や機能性、日持ちやおいしい果実の選び方、追熟の仕方などの食べ方の情報の消費者への提供を促進します。提供に当たっては、SNSをはじめとする多様な媒体の活用を図ります。</p> <p>（以下、略）</p>	<p>3 道産果実についての情報発信及び6次産業化の推進による需要の拡大</p> <p>■ 道産果実についての情報発信</p> <p>○ 果実を毎日の食生活に欠かせないものとして定着させるため、果実や果実加工品の栄養や機能性、日持ちやおいしい果実の選び方、追熟の仕方など、<u>消費者への食べ方の情報提供</u>を促進します。提供に当たっては、SNSをはじめとする多様な媒体の活用を図ります。</p> <p>（以下、略）</p>	□表現の修正
10	P 4	<p>■ 6次産業化・高付加価値化の取組の促進</p> <p>○ 産地が加工・流通業者や観光産業などの異業種と連携しながら、優れた機能性や食べやすさに着目した新商品の開発、シードルや果実を使ったスイーツなど、道産果実の風味や特色を生かした付加価値が高く、売れる果実加工品づくりを促進します。</p> <p>（以下、略）</p>	<p>■ 6次産業化・高付加価値化の取組の促進</p> <p>○ 産地が加工・流通業者や観光産業などの異業種と連携<u>して行う</u>、優れた機能性や食べやすさに着目した新商品の開発、シードルや果実を使ったスイーツなど、道産果実の風味や特色を生かした付加価値が高く、売れる果実加工品づくりを促進します。</p> <p>（以下、略）</p>	□表現の修正

番号	頁	素案（10/28時点）	案（2/17時点）	修正理由
11	P 5	<p><b>4 試験研究及び技術普及の推進</b></p> <p>○ 多様なニーズに応じ、地域の条件に適した優れた品種の選定や高品質・安定栽培技術、労働力不足や果樹経営の安定化に向けた省力・低コスト栽培技術などの普及を推進します。</p> <p>（以下、略）</p>	<p><b>4 試験研究及び技術普及の推進</b></p> <p>○ 多様なニーズに応じ、地域の条件に適した優れた品種の選定や高品質・安定栽培技術、労働力不足や果樹経営の安定化に向けた省力・低コスト栽培技術、<u>環境との調和に配慮した生産技術、病虫害発生状況の変化に対応した防除技術</u>などの普及を推進します。</p> <p>（以下、略）</p>	<p>□研究・普及の取組を追記</p>
12	P 5	<p><b>第3 醸造用ぶどう生産とワイナリー</b></p> <p><b>1 醸造用ぶどうの現状と課題</b></p> <p>（略）</p> <p>また、生産者の努力に加え温暖化の進展により、これまで道内では栽培が難しいとされていたピノ・ノワールやシャルドネ等の<u>欧州系銘醸品種</u>の導入が拡大しています。</p> <p>（以下、略）</p>	<p><b>第3 醸造用ぶどう生産とワイナリー</b></p> <p><b>1 醸造用ぶどうの現状と課題</b></p> <p>（略）</p> <p>また、生産者の努力に加え温暖化の進展により、これまで道内では栽培が難しいとされていた「<u>ピノ・ノワール</u>」や「<u>シャルドネ</u>」等の<u>欧州系の銘醸ワインぶどう品種</u>の導入が拡大しています。</p> <p>（以下、略）</p>	<p>□表現の修正</p>

番号	頁	素案（10/28時点）	案（2/17時点）	修正理由
13	P 6	<p><b>3 醸造用ぶどうの振興に向けた方策</b></p> <p>（1）品質向上や生産拡大に向けた取組の推進</p> <p>○ 醸造用ぶどうの生産と高品質なワインの醸造の基本となる気象や土壌と収量・品質の関係、品種別ワインの特徴などのデータベースを活用した栽培・醸造技術の平準化の取組を推進します。</p> <p>（以下、略）</p>	<p><b>3 醸造用ぶどうの振興に向けた方策</b></p> <p>（1）品質向上や生産拡大に向けた取組の推進</p> <p>○ 醸造用ぶどうの生産と高品質なワインの醸造の基本となる気象や土壌と収量・品質の関係、<u>作業履歴やぶどう果汁の品質などのデータベース</u>を活用した栽培・醸造技術の<u>高度化</u>の取組を推進します。</p> <p>（以下、略）</p>	<p>□取組内容を具体的に記載</p>

番号	頁	素案（10/28時点）	案（2/17時点）	修正理由																																																																																																																																																												
14	P 8	<p><b>第4 果実の生産目標</b></p> <p><b>1 栽培面積及び生産量等の目標</b></p> <p>果実の種類ごとに、生産動向等を踏まえ、果樹の栽培面積及び生産量の目標を次のとおり定めます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区 分</th> <th colspan="2">平成30年度（現状）</th> <th colspan="4">令和12年度（目標）</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">栽培面積 (ha)</th> <th rowspan="2">生産量<sup>注1</sup> (t)</th> <th rowspan="2">栽培面積 (ha)</th> <th rowspan="2">生産量 (t)</th> <th colspan="2">現状対比</th> </tr> <tr> <th>栽培面積 (%)</th> <th>生産量 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>りんご</td> <td>575</td> <td>7,120 (7,738)</td> <td>588</td> <td>8,060</td> <td>102.2</td> <td>113.2 (104.2)</td> </tr> <tr> <td>ぶどう</td> <td colspan="6">(略)</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>88</td> <td>613 (1,113)</td> <td>88</td> <td>1,110</td> <td>99.6</td> <td>181.0 (99.7)</td> </tr> <tr> <td>  日本なし</td> <td>27</td> <td>212 (413)</td> <td>25</td> <td>395</td> <td>91.0</td> <td>186.1 (95.6)</td> </tr> <tr> <td>  西洋なし</td> <td>61</td> <td>401 (700)</td> <td>63</td> <td>715</td> <td>103.3</td> <td>178.3 (102.1)</td> </tr> <tr> <td>もも</td> <td colspan="6">(略)</td> </tr> <tr> <td>おうとう</td> <td colspan="6">(略)</td> </tr> <tr> <td colspan="7">(略)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,846</td> <td>15,009 (19,309)</td> <td>2,871</td> <td>19,816</td> <td>100.9</td> <td>132.0 (102.6)</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	平成30年度（現状）		令和12年度（目標）				栽培面積 (ha)	生産量 <sup>注1</sup> (t)	栽培面積 (ha)	生産量 (t)	現状対比		栽培面積 (%)	生産量 (%)	りんご	575	7,120 (7,738)	588	8,060	102.2	113.2 (104.2)	ぶどう	(略)						なし	88	613 (1,113)	88	1,110	99.6	181.0 (99.7)	日本なし	27	212 (413)	25	395	91.0	186.1 (95.6)	西洋なし	61	401 (700)	63	715	103.3	178.3 (102.1)	もも	(略)						おうとう	(略)						(略)							合 計	2,846	15,009 (19,309)	2,871	19,816	100.9	132.0 (102.6)	<p><b>第4 果実の生産目標</b></p> <p><b>1 栽培面積及び生産量等の目標</b></p> <p>果実の種類ごとに、生産動向等を踏まえ、果樹の栽培面積及び生産量の目標を次のとおり定めます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区 分</th> <th colspan="2">平成30年度（現状）</th> <th colspan="4">令和12年度（目標）</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">栽培面積 (ha)</th> <th rowspan="2">生産量<sup>注1</sup> (t)</th> <th rowspan="2">栽培面積 (ha)</th> <th rowspan="2">生産量 (t)</th> <th colspan="2">現状対比</th> </tr> <tr> <th>栽培面積 (%)</th> <th>生産量 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>りんご</td> <td>575</td> <td>7,120 (7,738)</td> <td>588</td> <td><u>8,056</u></td> <td>102.2</td> <td><u>113.1</u> (<u>104.1</u>)</td> </tr> <tr> <td>ぶどう</td> <td colspan="6">(略)</td> </tr> <tr> <td><u>おうとう</u></td> <td colspan="6">(略)</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>88</td> <td>613 (1,113)</td> <td><u>87</u></td> <td><u>1,108</u></td> <td><u>98.4</u></td> <td><u>180.7</u> (<u>99.5</u>)</td> </tr> <tr> <td>  日本なし</td> <td>27</td> <td>212 (413)</td> <td><u>27</u></td> <td><u>427</u></td> <td><u>98.4</u></td> <td><u>201.2</u> (<u>103.4</u>)</td> </tr> <tr> <td>  西洋なし</td> <td>61</td> <td>401 (700)</td> <td><u>60</u></td> <td><u>681</u></td> <td><u>98.4</u></td> <td><u>169.8</u> (<u>97.2</u>)</td> </tr> <tr> <td>もも</td> <td colspan="6">(略)</td> </tr> <tr> <td colspan="7">(略)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,846</td> <td>15,009 (19,309)</td> <td><u>2,870</u></td> <td><u>19,810</u></td> <td><u>100.8</u></td> <td>132.0 (102.6)</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	平成30年度（現状）		令和12年度（目標）				栽培面積 (ha)	生産量 <sup>注1</sup> (t)	栽培面積 (ha)	生産量 (t)	現状対比		栽培面積 (%)	生産量 (%)	りんご	575	7,120 (7,738)	588	<u>8,056</u>	102.2	<u>113.1</u> ( <u>104.1</u> )	ぶどう	(略)						<u>おうとう</u>	(略)						なし	88	613 (1,113)	<u>87</u>	<u>1,108</u>	<u>98.4</u>	<u>180.7</u> ( <u>99.5</u> )	日本なし	27	212 (413)	<u>27</u>	<u>427</u>	<u>98.4</u>	<u>201.2</u> ( <u>103.4</u> )	西洋なし	61	401 (700)	<u>60</u>	<u>681</u>	<u>98.4</u>	<u>169.8</u> ( <u>97.2</u> )	もも	(略)						(略)							合 計	2,846	15,009 (19,309)	<u>2,870</u>	<u>19,810</u>	<u>100.8</u>	132.0 (102.6)	<p>□近年の作付け動向等を踏まえ掲載順と数値を調整</p>
区 分	平成30年度（現状）			令和12年度（目標）																																																																																																																																																												
	栽培面積 (ha)	生産量 <sup>注1</sup> (t)		栽培面積 (ha)	生産量 (t)	現状対比																																																																																																																																																										
			栽培面積 (%)			生産量 (%)																																																																																																																																																										
りんご	575	7,120 (7,738)	588	8,060	102.2	113.2 (104.2)																																																																																																																																																										
ぶどう	(略)																																																																																																																																																															
なし	88	613 (1,113)	88	1,110	99.6	181.0 (99.7)																																																																																																																																																										
日本なし	27	212 (413)	25	395	91.0	186.1 (95.6)																																																																																																																																																										
西洋なし	61	401 (700)	63	715	103.3	178.3 (102.1)																																																																																																																																																										
もも	(略)																																																																																																																																																															
おうとう	(略)																																																																																																																																																															
(略)																																																																																																																																																																
合 計	2,846	15,009 (19,309)	2,871	19,816	100.9	132.0 (102.6)																																																																																																																																																										
区 分	平成30年度（現状）		令和12年度（目標）																																																																																																																																																													
	栽培面積 (ha)	生産量 <sup>注1</sup> (t)	栽培面積 (ha)	生産量 (t)	現状対比																																																																																																																																																											
					栽培面積 (%)	生産量 (%)																																																																																																																																																										
りんご	575	7,120 (7,738)	588	<u>8,056</u>	102.2	<u>113.1</u> ( <u>104.1</u> )																																																																																																																																																										
ぶどう	(略)																																																																																																																																																															
<u>おうとう</u>	(略)																																																																																																																																																															
なし	88	613 (1,113)	<u>87</u>	<u>1,108</u>	<u>98.4</u>	<u>180.7</u> ( <u>99.5</u> )																																																																																																																																																										
日本なし	27	212 (413)	<u>27</u>	<u>427</u>	<u>98.4</u>	<u>201.2</u> ( <u>103.4</u> )																																																																																																																																																										
西洋なし	61	401 (700)	<u>60</u>	<u>681</u>	<u>98.4</u>	<u>169.8</u> ( <u>97.2</u> )																																																																																																																																																										
もも	(略)																																																																																																																																																															
(略)																																																																																																																																																																
合 計	2,846	15,009 (19,309)	<u>2,870</u>	<u>19,810</u>	<u>100.8</u>	132.0 (102.6)																																																																																																																																																										



番号	頁	素案（10/28時点）	案（2/17時点）	修正理由																								
15	P 9 P 10	<p data-bbox="394 285 923 327"><b>2 果樹の種類別振興方針</b></p> <table border="1" data-bbox="394 369 1442 1709"> <thead> <tr> <th data-bbox="394 369 649 470">果樹の種類</th> <th data-bbox="649 369 1442 470">振 興 方 針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="394 470 649 911">りんご</td> <td data-bbox="649 470 1442 911">           ○（略）            ○（略）            ○（略）            ○（略）         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="394 911 649 1293">ぶどう</td> <td data-bbox="649 911 1442 1293">           [生食用]（略）            [醸造用]            ○（略）            ○ 醸造用ぶどうの安定生産による品質の良い原料の安定供給の促進            ○（略）         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="394 1293 649 1451"><u>なし</u></td> <td data-bbox="649 1293 1442 1451">（略）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="394 1451 649 1608"><u>おうとう</u> (さくらんぼ)</td> <td data-bbox="649 1451 1442 1608">（略）</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="394 1608 1442 1709">（以下、略）</td> </tr> </tbody> </table>	果樹の種類	振 興 方 針	りんご	○（略） ○（略） ○（略） ○（略）	ぶどう	[生食用]（略） [醸造用] ○（略） ○ 醸造用ぶどうの安定生産による品質の良い原料の安定供給の促進 ○（略）	<u>なし</u>	（略）	<u>おうとう</u> (さくらんぼ)	（略）	（以下、略）		<p data-bbox="1472 285 2000 327"><b>2 果樹の種類別振興方針</b></p> <table border="1" data-bbox="1472 369 2519 1709"> <thead> <tr> <th data-bbox="1472 369 1727 470">果樹の種類</th> <th data-bbox="1727 369 2519 470">振 興 方 針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1472 470 1727 911">りんご</td> <td data-bbox="1727 470 2519 911">           ○（略）            ○（略）            ○（略）            ○（略）            ○ <u>環境との調和に配慮した生産技術、病虫害発生の変化に対応した防除技術の普及</u> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1472 911 1727 1293">ぶどう</td> <td data-bbox="1727 911 2519 1293">           [生食用]（略）            [醸造用]            ○（略）            ○ <u>醸造用ぶどうの安定生産による高品質原料の安定供給の促進</u>            ○（略）         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1472 1293 1727 1451"><u>おうとう</u> (さくらんぼ)</td> <td data-bbox="1727 1293 2519 1451">（略）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1472 1451 1727 1608"><u>なし</u></td> <td data-bbox="1727 1451 2519 1608">（略）</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1472 1608 2519 1709">（以下、略）</td> </tr> </tbody> </table>	果樹の種類	振 興 方 針	りんご	○（略） ○（略） ○（略） ○（略） ○ <u>環境との調和に配慮した生産技術、病虫害発生の変化に対応した防除技術の普及</u>	ぶどう	[生食用]（略） [醸造用] ○（略） ○ <u>醸造用ぶどうの安定生産による高品質原料の安定供給の促進</u> ○（略）	<u>おうとう</u> (さくらんぼ)	（略）	<u>なし</u>	（略）	（以下、略）		<p data-bbox="2549 726 2798 827">□研究・普及の取組を追記</p> <p data-bbox="2549 1104 2763 1155">□表現の修正</p> <p data-bbox="2549 1325 2798 1375">□掲載順の整理</p>
果樹の種類	振 興 方 針																											
りんご	○（略） ○（略） ○（略） ○（略）																											
ぶどう	[生食用]（略） [醸造用] ○（略） ○ 醸造用ぶどうの安定生産による品質の良い原料の安定供給の促進 ○（略）																											
<u>なし</u>	（略）																											
<u>おうとう</u> (さくらんぼ)	（略）																											
（以下、略）																												
果樹の種類	振 興 方 針																											
りんご	○（略） ○（略） ○（略） ○（略） ○ <u>環境との調和に配慮した生産技術、病虫害発生の変化に対応した防除技術の普及</u>																											
ぶどう	[生食用]（略） [醸造用] ○（略） ○ <u>醸造用ぶどうの安定生産による高品質原料の安定供給の促進</u> ○（略）																											
<u>おうとう</u> (さくらんぼ)	（略）																											
<u>なし</u>	（略）																											
（以下、略）																												

番号	頁	素案（10/28時点）	案（2/17時点）	修正理由																																																												
16	P 11	<p><b>3 果樹の種類別振興品種</b> 果樹の種類別の主な振興品種を次のとおり定めます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">基幹品種</th> <th colspan="2">補完品種</th> <th rowspan="2">試作品種</th> </tr> <tr> <th>主要品種</th> <th>その他品種 (地域限定等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ぶどう</td> <td>生食</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> <tr> <td>醸造用</td> <td>ケルナー S13053 ツバイゲルトレーベ</td> <td>ピノ・ノワール ミュラートルガウ</td> <td>清見 山幸 S5279 パッカス</td> <td>シャルドネ メルロー</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	基幹品種	補完品種		試作品種	主要品種	その他品種 (地域限定等)	(略)					ぶどう	生食	(略)			醸造用	ケルナー S13053 ツバイゲルトレーベ	ピノ・ノワール ミュラートルガウ	清見 山幸 S5279 パッカス	シャルドネ メルロー	(略)					<p><b>3 果樹の種類別振興品種</b> 果樹の種類別の主な振興品種を次のとおり定めます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">基幹品種</th> <th colspan="2">補完品種</th> <th rowspan="2">試作品種</th> </tr> <tr> <th>主要品種</th> <th>その他品種 (地域限定等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ぶどう</td> <td>生食</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> <tr> <td>醸造用</td> <td>ケルナー S13053 ツバイゲルト</td> <td>ピノ・ノワール ミュラートルガウ</td> <td>清見 山幸 S5279 パッカス</td> <td>シャルドネ メルロー</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	基幹品種	補完品種		試作品種	主要品種	その他品種 (地域限定等)	(略)					ぶどう	生食	(略)			醸造用	ケルナー S13053 ツバイゲルト	ピノ・ノワール ミュラートルガウ	清見 山幸 S5279 パッカス	シャルドネ メルロー	(略)					<input type="checkbox"/> 一般的な名称に修正						
区分	基幹品種	補完品種			試作品種																																																											
		主要品種	その他品種 (地域限定等)																																																													
(略)																																																																
ぶどう	生食	(略)																																																														
	醸造用	ケルナー S13053 ツバイゲルトレーベ	ピノ・ノワール ミュラートルガウ	清見 山幸 S5279 パッカス	シャルドネ メルロー																																																											
(略)																																																																
区分	基幹品種	補完品種		試作品種																																																												
		主要品種	その他品種 (地域限定等)																																																													
(略)																																																																
ぶどう	生食	(略)																																																														
	醸造用	ケルナー S13053 ツバイゲルト	ピノ・ノワール ミュラートルガウ	清見 山幸 S5279 パッカス	シャルドネ メルロー																																																											
(略)																																																																
17	P 12	<p><b>第5 目標とする果樹園経営の指標</b> <b>1 栽培に適する自然的条件</b> (略)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分 種類</th> <th colspan="3">気温条件</th> <th>降水量条件</th> <th rowspan="3">気象被害を防ぐための基準</th> </tr> <tr> <th colspan="2">平均気温</th> <th rowspan="2">冬期の 最低気温</th> <th rowspan="2">4月1日～10月31日</th> </tr> <tr> <th>年</th> <th>4月1日～ 10月31日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>りんご</td> <td colspan="4" rowspan="5" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ぶどう</td> <td>生食用</td> </tr> <tr> <td>醸造用 (欧州種)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">なし</td> <td>日本なし</td> </tr> <tr> <td>西洋なし</td> </tr> <tr> <td>おうとう</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">(以下、略)</td> </tr> </tbody> </table>	区分 種類	気温条件			降水量条件	気象被害を防ぐための基準	平均気温		冬期の 最低気温	4月1日～10月31日	年	4月1日～ 10月31日	りんご	(略)				ぶどう	生食用	醸造用 (欧州種)	なし	日本なし	西洋なし	おうとう	(以下、略)						<p><b>第5 目標とする果樹園経営の指標</b> <b>1 栽培に適する自然的条件</b> (略)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分 種類</th> <th colspan="3">気温条件</th> <th>降水量条件</th> <th rowspan="3">気象被害を防ぐための基準</th> </tr> <tr> <th colspan="2">平均気温</th> <th rowspan="2">冬期の 最低気温</th> <th rowspan="2">4月1日～10月31日</th> </tr> <tr> <th>年</th> <th>4月1日～ 10月31日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>りんご</td> <td colspan="4" rowspan="5" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ぶどう</td> <td>生食用</td> </tr> <tr> <td>醸造用 (欧州種)</td> </tr> <tr> <td>おうとう</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">なし</td> <td>日本なし</td> </tr> <tr> <td>西洋なし</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">(以下、略)</td> </tr> </tbody> </table>	区分 種類	気温条件			降水量条件	気象被害を防ぐための基準	平均気温		冬期の 最低気温	4月1日～10月31日	年	4月1日～ 10月31日	りんご	(略)				ぶどう	生食用	醸造用 (欧州種)	おうとう	なし	日本なし	西洋なし	(以下、略)						<input type="checkbox"/> 掲載順の整理
区分 種類	気温条件			降水量条件	気象被害を防ぐための基準																																																											
	平均気温			冬期の 最低気温		4月1日～10月31日																																																										
	年	4月1日～ 10月31日																																																														
りんご	(略)																																																															
ぶどう					生食用																																																											
					醸造用 (欧州種)																																																											
なし					日本なし																																																											
					西洋なし																																																											
おうとう																																																																
(以下、略)																																																																
区分 種類	気温条件			降水量条件	気象被害を防ぐための基準																																																											
	平均気温		冬期の 最低気温	4月1日～10月31日																																																												
	年	4月1日～ 10月31日																																																														
りんご	(略)																																																															
ぶどう					生食用																																																											
					醸造用 (欧州種)																																																											
おうとう																																																																
なし					日本なし																																																											
	西洋なし																																																															
(以下、略)																																																																

番号	頁	素案（10/28時点）	案（2/17時点）	修正理由																																														
18	P13	<p>2 目標とする果樹園経営の指標 (略)</p> <p>(1) 目標とすべき10a当たりの生産量及び労働時間</p> <table border="1" data-bbox="400 468 1380 1316"> <thead> <tr> <th>果樹の種類</th> <th>栽培法</th> <th>成園10a 当たり 生産量 (kg)</th> <th>成園10a 当たり 労働時間 (時間)</th> <th>防除方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>りんご</td> <td rowspan="4">(略)</td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>ぶどう</td> </tr> <tr> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>おうとう (さくらんぼ)</td> </tr> <tr> <td>プルーン</td> <td></td> <td>1,500</td> <td>152</td> <td>SS</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(以下、略)</td> </tr> </tbody> </table>	果樹の種類	栽培法	成園10a 当たり 生産量 (kg)	成園10a 当たり 労働時間 (時間)	防除方式	りんご	(略)				ぶどう	なし	おうとう (さくらんぼ)	プルーン		1,500	152	SS	(以下、略)					<p>2 目標とする果樹園経営の指標 (略)</p> <p>(1) 目標とすべき10a当たりの生産量及び労働時間</p> <table border="1" data-bbox="1492 468 2460 1316"> <thead> <tr> <th>果樹の種類</th> <th>栽培法</th> <th>成園10a 当たり 生産量 (kg)</th> <th>成園10a 当たり 労働時間 (時間)</th> <th>防除方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>りんご</td> <td rowspan="4">(略)</td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>ぶどう</td> </tr> <tr> <td>おうとう (さくらんぼ)</td> </tr> <tr> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>プルーン</td> <td></td> <td>1,500</td> <td><u>151</u></td> <td>SS</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(以下、略)</td> </tr> </tbody> </table>	果樹の種類	栽培法	成園10a 当たり 生産量 (kg)	成園10a 当たり 労働時間 (時間)	防除方式	りんご	(略)				ぶどう	おうとう (さくらんぼ)	なし	プルーン		1,500	<u>151</u>	SS	(以下、略)					<p>□掲載順の整理</p> <p>□「北海道農業生産技術体系（第5版）」に合わせて修正</p>
果樹の種類	栽培法	成園10a 当たり 生産量 (kg)	成園10a 当たり 労働時間 (時間)	防除方式																																														
りんご	(略)																																																	
ぶどう																																																		
なし																																																		
おうとう (さくらんぼ)																																																		
プルーン		1,500	152	SS																																														
(以下、略)																																																		
果樹の種類	栽培法	成園10a 当たり 生産量 (kg)	成園10a 当たり 労働時間 (時間)	防除方式																																														
りんご	(略)																																																	
ぶどう																																																		
おうとう (さくらんぼ)																																																		
なし																																																		
プルーン		1,500	<u>151</u>	SS																																														
(以下、略)																																																		

番号	頁	素案（10/28時点）	案（2/17時点）	修正理由																																																																																																																																																																																																																		
19	P 14	<p><b>（2）効率的かつ安定的な果樹園経営の類型</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">営農類型</th> <th rowspan="2">果樹の種類</th> <th rowspan="2">経営規模</th> <th rowspan="2">作付面積</th> <th rowspan="2">単 収</th> <th rowspan="2">10a当 り労働時 間</th> <th rowspan="2">10a当 り費用合 計</th> <th colspan="2">労働時間</th> <th rowspan="2">粗収益</th> <th rowspan="2">所 得</th> </tr> <tr> <th>家 族</th> <th>雇 用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">りんご・おうとう基幹 〔果樹複合（市場出荷+直売型）〕</td> <td></td> <td>5.00</td> <td>4.80</td> <td>-</td> <td>115</td> <td>279</td> <td>3,939</td> <td>1,598</td> <td>23,719</td> <td>9,459</td> </tr> <tr> <td>りんご(わい化)</td> <td>3.20</td> <td>3.20</td> <td>2,400</td> <td>96</td> <td>263</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>おうとう(雨よけ)</td> <td>0.55</td> <td>0.55</td> <td>600</td> <td>195</td> <td>495</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>おうとう(露地)</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>300</td> <td>109</td> <td>204</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ぶどう(露地)</td> <td>0.33</td> <td>0.33</td> <td>1,200</td> <td>109</td> <td>179</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>西洋なし</td> <td>0.31</td> <td>0.31</td> <td>1,440</td> <td>84</td> <td>283</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブルーベリー(露地)</td> <td>0.30</td> <td>0.30</td> <td>1,500</td> <td>151</td> <td>380</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">醸造用ぶどう専業</td> <td></td> <td>6.20</td> <td>6.00</td> <td>-</td> <td>91</td> <td>181</td> <td>2,626</td> <td>2,995</td> <td>17,490</td> <td>6,242</td> </tr> <tr> <td>醸造用ぶどう</td> <td>6.20</td> <td>6.00</td> <td>1,200</td> <td>90</td> <td>186</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	営農類型	果樹の種類	経営規模	作付面積	単 収	10a当 り労働時 間	10a当 り費用合 計	労働時間		粗収益	所 得	家 族	雇 用	りんご・おうとう基幹 〔果樹複合（市場出荷+直売型）〕		5.00	4.80	-	115	279	3,939	1,598	23,719	9,459	りんご(わい化)	3.20	3.20	2,400	96	263					おうとう(雨よけ)	0.55	0.55	600	195	495					おうとう(露地)	0.11	0.11	300	109	204					ぶどう(露地)	0.33	0.33	1,200	109	179					西洋なし	0.31	0.31	1,440	84	283					ブルーベリー(露地)	0.30	0.30	1,500	151	380					醸造用ぶどう専業		6.20	6.00	-	91	181	2,626	2,995	17,490	6,242	醸造用ぶどう	6.20	6.00	1,200	90	186					<p><b>（2）効率的かつ安定的な果樹園経営の類型</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">営農類型</th> <th rowspan="2">果樹の種類</th> <th rowspan="2">経営規模</th> <th rowspan="2">作付面積</th> <th rowspan="2">単 収</th> <th rowspan="2">10a当 り労働時 間</th> <th rowspan="2">10a当 り費用合 計</th> <th colspan="2">労働時間</th> <th rowspan="2">粗収益</th> <th rowspan="2">所 得</th> </tr> <tr> <th>家 族</th> <th>雇 用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">りんご・おうとう基幹 〔果樹複合（市場出荷+直売型）〕</td> <td></td> <td>5.00</td> <td>4.80</td> <td>-</td> <td>115</td> <td>304</td> <td>3,939</td> <td>1,598</td> <td>27,934</td> <td>13,027</td> </tr> <tr> <td>りんご(わい化)</td> <td>3.20</td> <td>3.20</td> <td>2,400</td> <td>96</td> <td>275</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>おうとう(雨よけ)</td> <td>0.55</td> <td>0.55</td> <td>600</td> <td>195</td> <td>514</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>おうとう(露地)</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>300</td> <td>109</td> <td>212</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ぶどう(露地)</td> <td>0.33</td> <td>0.33</td> <td>1,200</td> <td>109</td> <td>198</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>西洋なし</td> <td>0.31</td> <td>0.31</td> <td>1,440</td> <td>84</td> <td>293</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブルーベリー(露地)</td> <td>0.30</td> <td>0.30</td> <td>1,500</td> <td>151</td> <td>401</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">醸造用ぶどう専業</td> <td></td> <td>9.00</td> <td>8.80</td> <td>-</td> <td>91</td> <td>189</td> <td>2,822</td> <td>5,258</td> <td>24,000</td> <td>7,100</td> </tr> <tr> <td>醸造用ぶどう</td> <td>9.00</td> <td>8.80</td> <td>1,000</td> <td>90</td> <td>188</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	営農類型	果樹の種類	経営規模	作付面積	単 収	10a当 り労働時 間	10a当 り費用合 計	労働時間		粗収益	所 得	家 族	雇 用	りんご・おうとう基幹 〔果樹複合（市場出荷+直売型）〕		5.00	4.80	-	115	304	3,939	1,598	27,934	13,027	りんご(わい化)	3.20	3.20	2,400	96	275					おうとう(雨よけ)	0.55	0.55	600	195	514					おうとう(露地)	0.11	0.11	300	109	212					ぶどう(露地)	0.33	0.33	1,200	109	198					西洋なし	0.31	0.31	1,440	84	293					ブルーベリー(露地)	0.30	0.30	1,500	151	401					醸造用ぶどう専業		9.00	8.80	-	91	189	2,822	5,258	24,000	7,100	醸造用ぶどう	9.00	8.80	1,000	90	188					<p>□「北海道農業経営基盤強化促進基本方針」の見直しに伴う修正</p>
営農類型	果樹の種類	経営規模								作付面積	単 収			10a当 り労働時 間	10a当 り費用合 計		労働時間		粗収益	所 得																																																																																																																																																																																																		
			家 族	雇 用																																																																																																																																																																																																																		
りんご・おうとう基幹 〔果樹複合（市場出荷+直売型）〕		5.00	4.80	-	115	279	3,939	1,598	23,719	9,459																																																																																																																																																																																																												
	りんご(わい化)	3.20	3.20	2,400	96	263																																																																																																																																																																																																																
	おうとう(雨よけ)	0.55	0.55	600	195	495																																																																																																																																																																																																																
	おうとう(露地)	0.11	0.11	300	109	204																																																																																																																																																																																																																
	ぶどう(露地)	0.33	0.33	1,200	109	179																																																																																																																																																																																																																
	西洋なし	0.31	0.31	1,440	84	283																																																																																																																																																																																																																
	ブルーベリー(露地)	0.30	0.30	1,500	151	380																																																																																																																																																																																																																
醸造用ぶどう専業		6.20	6.00	-	91	181	2,626	2,995	17,490	6,242																																																																																																																																																																																																												
	醸造用ぶどう	6.20	6.00	1,200	90	186																																																																																																																																																																																																																
営農類型	果樹の種類	経営規模	作付面積	単 収	10a当 り労働時 間	10a当 り費用合 計	労働時間		粗収益	所 得																																																																																																																																																																																																												
							家 族	雇 用																																																																																																																																																																																																														
りんご・おうとう基幹 〔果樹複合（市場出荷+直売型）〕		5.00	4.80	-	115	304	3,939	1,598	27,934	13,027																																																																																																																																																																																																												
	りんご(わい化)	3.20	3.20	2,400	96	275																																																																																																																																																																																																																
	おうとう(雨よけ)	0.55	0.55	600	195	514																																																																																																																																																																																																																
	おうとう(露地)	0.11	0.11	300	109	212																																																																																																																																																																																																																
	ぶどう(露地)	0.33	0.33	1,200	109	198																																																																																																																																																																																																																
	西洋なし	0.31	0.31	1,440	84	293																																																																																																																																																																																																																
	ブルーベリー(露地)	0.30	0.30	1,500	151	401																																																																																																																																																																																																																
醸造用ぶどう専業		9.00	8.80	-	91	189	2,822	5,258	24,000	7,100																																																																																																																																																																																																												
	醸造用ぶどう	9.00	8.80	1,000	90	188																																																																																																																																																																																																																